

文部科学省「地域の医療ニーズに 対応した先進的な薬学教育に係る取り組み支援事業」 採択校による合同シンポジウム

日時 令和6年3月21日（木）18:00～19:30（会場受付17:30）
場所 広島県薬剤師会館ふたばホール（<https://www.hiroyaku.or.jp/about/access>）

Zoomウェビナーによる配信

↑アクセス方法

定員 会場100人/Zoom300人（いずれも先着順）

参加費 無料

参加申込 3月20日（水）まで

- ・スマートフォンをお使いの方
→QRコードをカメラで読みこんでください。
- ・PCをお使いの方
→下記リンクからお申し込みください。
<https://forms.office.com/r/tswPR3AFel>



- ▶本事業は、文部科学省の支援により、薬剤師を取り巻く医療環境の変化や薬剤師の地域偏在、薬学部教育の質保証等の課題に対応し、地域で活躍する質の高い薬剤師を養成することを目的としています。
- ▶このシンポジウムでは、本事業に採択された4大学に、本年度の取組みを紹介いただくとともに、サステイナブルな地域医療実現に向けた先進的薬学教育について議論いたします。

プログラム

開会挨拶・主旨説明

小澤 孝一郎 広島大学大学院医系科学研究科・薬学部教授

ご挨拶

俵 幸嗣 文部科学省高等教育局医学教育課長

基調講演

『第8次広島県保健医療計画における薬剤師確保対策について』

岡田 史恵 広島県健康福祉局薬務課長

採択校取組紹介

- ・熊本大学（連携大学：崇城大学）
「医療デジタル機器・ITを活用し地域医療を改新する薬剤師育成プログラム」
石塚 洋一 熊本大学大学院生命科学研究部・薬学部教授
- ・山陽小野田市立山口東京理科大学
「山口県が抱える薬剤師の地域偏在と在宅医療の問題を解決する先進的な薬剤師養成プログラム」
有海 秀人 山陽小野田市立山口東京理科大学薬学研究科・薬学部准教授
- ・名古屋市立大学（連携大学：岐阜薬科大学、静岡県立大学、鈴鹿医療科学大学）
「東海地区連携で行う薬剤師不足地域でのアドバンスト実習とそれを活用した薬学生・薬剤師PBL学習プログラムの構築」
鈴木 匡 名古屋市立大学大学院医薬学研究科・教授
- ・広島大学（連携大学：島根大学）
「連携で地域医療を支える薬学教育の構築」
小澤 孝一郎 広島大学大学院医系科学研究科・薬学部教授

パネルディスカッション

司会：松尾 裕彰 広島大学病院薬剤部長

閉会挨拶

紙谷 浩之 広島大学薬学部長

主催 広島大学、島根大学
協力 熊本大学、名古屋市立大学、山陽小野田市立山口東京理科大学、広島県薬剤師会、広島県病院薬剤師会、広島市薬剤師会

お問い合わせ 広島大学霞地区運営支援部総務グループ
TEL:082-257-5048

kasumi-soumu@office.hiroshima-u.ac.jp

※件名の最初に【合同シンポジウム】と入力をお願いします。